今和7年度

校内支援体制を整えて、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を!

会津教育事務所

実態把握

行動の背景・要因を探ることが重要! 環境要因や特性要因、本人からの聞き 取りによる情報収集がポイント!

፟ 氷山モデル



本人:自分らしく

保護者:本人の困難さの理解者

先生方:教育的ニーズに応じた支援を継続し情報を引き継ぐ

すべての学びの場で目指したいこと

ケース会議

課題に対する対応を話し合う。誰が・ どうするといった役割分担を明確に! 話し合ったことを取り組み、複数の先 生方の目で変容を見取る。

課題となる点

環境要因 特性要因等

校内研修会

より多くの先生方が一貫した関わり・支援を行うことは子どもの安心・安全につながる!その必要性を確認することが重要!

個別の教育支援計画の策定

必要な支援内容を確実に関係者に引き継ぐためのツール。保護者にその良さを知っていただく!

使えるワザ!

相談・研修支援(※1)を活用!

- 参相談員が一緒に背景・要因を考えます。
- 易ケース会議の進め方も支援します。

【ハンドブック】(※2)

P72~, P84~, P90~

使えるワザ!

相談・研修支援(※1)を活用!

使えるワザ!

相談・研修支援(※1)を活用!

参策定のための情報提供を行います。 【ハンドブック】(※2)

P162~

(※2)コーディネートハンドブック 2020 年度版 特別支援教育センター刊行

URL:https://special-center.fcs.ed.ip



(※3)会津地区の特別支援学校4校に設置されている

相談機関

- (※I)「ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業」の地域支援体制整備 事業(小事業)では、各園・学校の校内支援体制づくりを応援します。
- (※3)地域支援センターでは電話相談、来校相談も行っております。